

# 上級者☆問題

1.本文で古田さんは大好きなオペラと映画『オネーギンの恋文』を翻訳したときのことを語っていますが、それは何のためですか。

- A) 字幕翻訳には外国語の能力もちろん不可欠だが、熟練した日本語こそが必要だということ伝えるため。
- B) 映画『オネーギンの恋文』の翻訳はその作品をいつもオペラで観ていたためにとっても楽に済ませることができたのが印象的だったということ言うため。
- C) 言葉を多面的に捉えるための日々の努力の一環でオペラを観ていたが、それがやっと本職の映画翻訳に役立ったから。
- D) 翻訳にとって情報や知識は大事だが、最終的には自分の感覚が大切だということ伝えるため。

2.次の文章の空欄に当てはまる言葉の組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

①には2つの段階があり、ひとつは話す内容を②することで、ここでは③の能力が必要となる。そして、②したものを日本語でどう④するかを考える。この2つ目の段階が①には大切で、⑤さえできればできる仕事ではないというのはこうした理由からである。

- A) ①文芸翻訳 ②聴解 ③翻訳 ④多国語
- B) ①字幕翻訳 ②読解 ③短く ④他言語
- C) ①字幕翻訳 ②解説 ③表現 ④外国語
- D) ①文芸翻訳 ②黙読 ③仕事 ④英語

3. 次の文章の中で本文の内容と一致するものを一つ選びなさい。

- A) 字幕に入る情報は上手くいってしゃべっている内容の7割で、最悪の場合半分しか盛り込めないで、古田さんはできる限り不必要な部分は切り落として、訳文が1秒あたり4文字程度におさまるよう心がけている。
- B) 語学力を生かした仕事に憧れる女性が多いが、外国語さえできれば字幕翻訳はできるという考え方は間違いである。字幕翻訳には外国語の能力よりも実は日本語の力が要求される。
- C) 英語の「art of conversation」は日本語に訳すと『会話の芸術』で、いかに会話を美しくオシャレにするかが大事なのだが、これは一種の大人のゲームでもある。
- D) 翻訳の作業には情報量と語彙の豊富さが不可欠であり、たとえ自分が体験のしたことのないような話題であっても、辞書や本、資料などから得た知識だけで十分に訳すことができる。